

給食選択制について

本園の教育のとらえ方

ゆりの樹幼稚園で大切にしている教育とは、「**自分が大好きで、自分が信じられる**」教育です。

本園の教育では「**自己選択→決断→承認→自己責任→自信→自他分離→個別性→共感→自立**」の教育の循環を通して、真に自立し、自分の事が大好きな子ども達を育てていきます。

この教育は日々の保育だけでなく、子ども達が自ら選択、決定し、自己承認が出来る**自主選択保育「ドリカムタイム」**やその年齢に不可欠の子ども達の望ましい成長と発達を促す教育にも繋がっています。



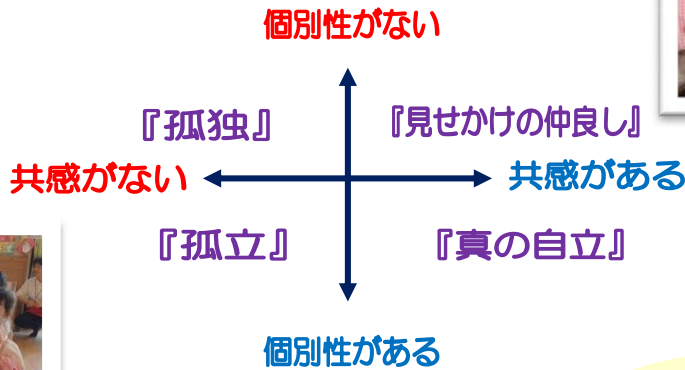
教育の三つの柱の第一『自立』という点から考えてみて真に自立した子どもに育ててほしいという願いから子ども達にとって一番身近である給食を水曜日は選択制にしています。「皆、違ってそれでいい、貴方と私が違うことを認めていける」ことが、**自他の区別をつける(自他分離できることが「個別性がある」ということ)基本**です。



そして、あなたが好きでいられる、あなたの存在を認めることが出来るのが『共感』です。お友達で個別性がなく、共感があるのは、『ただの仲良し』です。個別性がなくていつでも、何処でも、なんでも一緒の人が、違う行動をとると、共感がなくなり裏切られたと『孤独』に陥ります。あなたと私は違うことはわかっている共感が無い人は『孤立』します。自他分離できて、個別性があり、その上で共感があるところに初めて『真の自立』があるのです。

他人と違うことを羨ましがったり、欲しがったり、認められないようでは、真の自立した人間には育ちません。持っているものも、人間としての魅力も違ってそれがよいのです。それが本当の個性です。

個性を認めると、創造力も伸びます。個性が認められない人に育つといじめにも繋がります。自分とは違うものを認められないからいじめが起きるのです。



又、個別化を認められないと、友達など周りの人間に振り回されてしまい、自分自身に自信がなくなり、拳句に悩んでリストカットをしてしまうような事態にもなるのです。

先生達は園児の気持ちを考え、給食の園児には『給食屋さんに感謝して食べようね』お母さんのお弁当の園児には『働いてくれているお父さんやお弁当を作ってくださいお母さんにありがとうの気持ちを忘れないでいようね』などの言葉をかけながら、それぞれが違ったお弁当を違和感なく食べるように配慮しています。



わたしと小鳥とすずと

わたしが両手をひろげても、お空はちっともとべないが、とべる小鳥はわたしのよう、地面（じべた）をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、きれいな音はでないけど、あの鳴るすずはわたしのよう、たくさんうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。

金子みすゞ [1903-1929]

家庭からのお弁当のおかずは違っているのがあたりまえです。お母さんのお弁当ではミカンが入っている子がいれば、リンゴが入っている子もいるわけで、それで喧嘩やいじめが起きるようでは困る訳です。金子みすゞさんの言葉に「みんな違ってみんないい」という言葉があります。

違いを認めるところに本当の自立があります。全員でそろって食べることも大切ですので、その日も残しておきながら、お母さんのお弁当の園児もいれば、給食のお友達もいるという給食選択制はこの『真の自立』を促すものです。

アトピーがある園児さんが増えてくるとこの選択制は更に効果を発揮します。ゆりの樹幼稚園では、食教育ひとつをとってもこだわって取り組んでいきたいと考えています。給食選択性がもたらす教育の効果は計り知れないものがあると、園児の心の成長を見ながら、私達は感じています。



～幼稚園給食のご案内～

【献立作成のこだわり】

- 彩の良いお弁当の作成
- 旬の食材を使用し、季節感のある献立にする
- 四季折々の行事食を取り入れた献立の作成
- 咀嚼機能や食習慣を育てる為、かみかみメニューを取り入れております
- お弁当箱は日替わりで3種類あり、目で見て楽しめるお弁当になっております
- ホットメニューも学期替わりで3種類ご用意しております

【HACCPによる衛生管理を実施】

のぼるでは、安全で安心なお弁当を提供するためにHACCPによる衛生管理を実施しています。各原料の受入から製造、製品の出荷までのすべての工程において、食中毒を起こさないための職場づくりを行っています。



総合衛生管理
HACCP認証協会
認証番号：th-0202001003

お弁当の紹介



にこにこ弁当



なかよしランチ



ねこさん給食



くまさん弁当



カレーライス



パン給食

株式会社 **のぼる**

本社：北九州市八幡西区金剛1-15-10

アレルギー食のご案内

アレルギー食も万全の体制で取り組んでおります

現在430数名のアレルギーのお子様に対してアレルギー除去食を提供しております。『お友だちと同じように食べられるのがうれしい』との声を耳にすると大変うれしく思います。食育も含め、小学校準備段階の幼稚園生活の中で、少しでもみんなとさまざまな食物をたべられるようお手伝いできたらと思っております。



にこにこ弁当

甘辛チキン
玉子焼き
ブロッコリー
マヨ焼ビーフン
わかめときゅうりの和え物
フルーツ（黄桃）
おにぎり・ふりかけ



アレルギー弁当

甘辛チキン
ポテト
ブロッコリー
焼ビーフン
わかめときゅうりの和え物
フルーツ（黄桃）
おにぎり・アレルギー用
ふりかけ

【アレルギー除去食申し込みのご案内】

- まずは幼稚園にご相談ください
- アレルギー内容確認の為、病院の診断書の提出をお願いしております
- のぼる制作の「食物アレルギーカルテ」にご記入頂き、当社担当者よりお電話での聞き取りをさせていただいたうえで対応可能かどうか検討させていただきます。

40年近く前、まだアレルギーなどとはあまり言われていない時代、私は、ハウスダストのアレルギーの為に妊娠できない時期がありました。

30数年前、娘がアトピー性皮膚炎とたびかさなる口内炎に昼夜逆転の生活が続いたことが子育ての悩みの第一歩でした。だからこそ、子どもたちの健康を考え、園舎は空気循環・天然木にこだわりました。

皆と一緒に給食が食べられないお友達を見るにつけ、何とかならないか、寂しいお友達がいないようにしたいと考え、「幼稚園では初めての給食選択制」を取り入れました。

「お弁当のお友達がいてもいい、給食のお友達がいてもいい」

どちらも素敵と両方を受容しつつアレルギーのお友達に対応できる当時では、画期的な試みだと感じました。

この「給食選択制と、前日取り消しができる制度」に賛同し、対応してくれたのが唯一今の会社でした。とても感謝しています。

その後、アレルギー対応食も進めてきました。

そして、今の時代、食のアレルゲンを多く持つ園児達も増え、「アレルギー対応食」と同時に「給食選択制」と、「前日取り消し」ができる制度に対応してくれます。

玄海ゆりの樹幼稚園での有機栽培、無農薬の野菜やゆりの樹米作りを通してその大切さを感じています。園児達の健康と身体作りのために嬉しい限りです。園児たちが楽しめる給食時間となっています。

園長 高杉 洋史
文責：教頭 高杉 美稚子